



W杯ボルダー「来年は金」

関川選手（^光星）活躍誓う

スポーツクライミングのワールドカップ（W杯）ボルダー第4戦（6月・チェコ）女子で、自身初の表彰台となる3位に入り、年間総合でも4位と健闘した八戸学院光星高校3年の関川愛音選手が6日、県庁を訪

宮下知事（手前）に今季の成績を報告する関川選手（左）。中央は八学光星の木村一夫校長補佐（県庁）

れ、宮下宗一郎知事に今季の成績を報告した。訪問後の取材で、関川選手は首にかけて銅メダルを手に「来年は金メダルに変えた」とさらなる活躍を誓った。

今季のW杯は4〜6月に行われ、関川選手は3年連続での出場。3位となった第4戦は荒天で決勝が中止に。準決勝の成績で最終結果が決まった。

関川選手は「決勝がなく、なつての結果だけれど、すごく自信になった。（課題との）相性が良くて、決勝をやっていたら優勝していたんじゃないかな」と笑顔

で語った。来季の目標として「またW杯に出たい」と意欲を見せ、日本代表を決める来冬の「ボルダージャパンカップ」（東京）での優勝を誓

った。宮下知事は「世界で戦ってきた自信や日本代表としての誇りをひしひしと感じる。これからも頑張って」と激励した。（工藤慎子）